

クラブ・会員の理想像

(前橋ロータリークラブ 21世紀特別委員会 2004.6.30)

クラブの理想

1. 明るく活気に満ちた組織風土である。
2. 会員のニーズに適った会員本位の運営を行っている。
3. 例会や委員会活動が活発である。
4. 理事会がリーダーシップを発揮している。
5. 会員の満足度が高い。
6. (地域)社会に存在価値を認められている。
7. 入会を希望する会員候補者が多い。
8. 会員に多様な「奉仕の機会」を提供できる。
9. 独自の奉仕プログラムを持っている。
10. 専門職務者同士の「事業上の発想の交換」が活発に行われている。
11. 会員の学習と成長の環境が整っている。
12. 親睦と友情を育む機会がある。
13. バランスのとれた職業構成が保たれている。
14. 会員基盤が安定しており、成長力がある。
15. 「歴史と伝統」に安住せず、また前例にとらわれず、内外の環境変化に対応し、新しい試みに挑戦している。
16. 指導者を養成したり、有益な情報・実例を発信したりできる、他の模範となるリーディング・クラブである。

会員の理想(真のロータリアン)

1. 善良な市民である。
2. ロータリーの「奉仕の理想」を深く理解し、信奉している。
3. 高い職業倫理を持ち、自らの事業の社会的価値の向上に努めている。
4. 学習意欲が旺盛で、人間的成長を続けている。
5. クラブ外の社会で、積極的に奉仕の実践を行っている。
6. 会員同士の親睦と友情を大切にする。
7. クラブ奉仕に積極的に参加している。
8. RI 提唱の奉仕プロジェクトへ、積極的に参加している。
9. クラブを超えた指導力を身につけるよう努力している。